

「リフレッシュ・キャンプ」参加者アンケート調査結果（速報版）

H23.9.9

リフレッシュ・キャンプに参加した小学4年生以上の参加者を対象に、今回のキャンプに来る前とキャンプ終了後の意識や気持ちについての質問や満足度等を調査するアンケートを実施した。国立那須甲子青少年自然の家で実施した第1～6回までの参加者からのアンケート結果は以下のとおり。（第8回以降及び国立磐梯青少年交流の家での実施分について、現在集計中）

1. 回答者数

- ・ 小学生（4～6年） 789人（男：382人、女407人）
- ・ 中学生 153人（男：92人、女61人）

2. キャンプ前とキャンプ後の変容

調査項目は、子どもたちの意識や気持ち、ストレスを感じている様子があるか等について捉えるために作成した15項目について点数化し、キャンプ前後の有意差を判定（別紙参照）。

表1. キャンプ前とキャンプ後の数値の比較

※括弧内の数字はアンケート項目を指す。

カテゴリ名	キャンプ前	キャンプ後
全体得点	48.60	50.51
無気力(①⑥⑪)	8.94	9.97
愛他性(⑤⑩⑮)	9.42	9.48
うつ反応(②⑦⑫)	10.95	11.17
精神的混乱(③⑧⑬)	9.77	10.19
不安反応(④⑨⑭)	9.43	9.65

キャンプ後に全体的に改善がみられる。

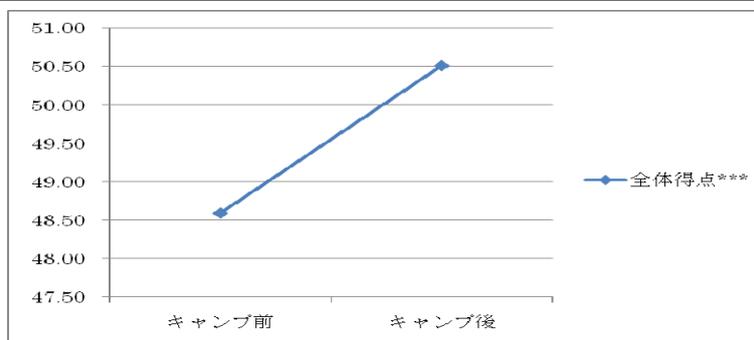


図1. 全体得点の変容

全体として数値の改善がみられる。特に、「無気力」に有意な影響を及ぼしていることから、キャンプ後にやる気が高まったと解釈できる。

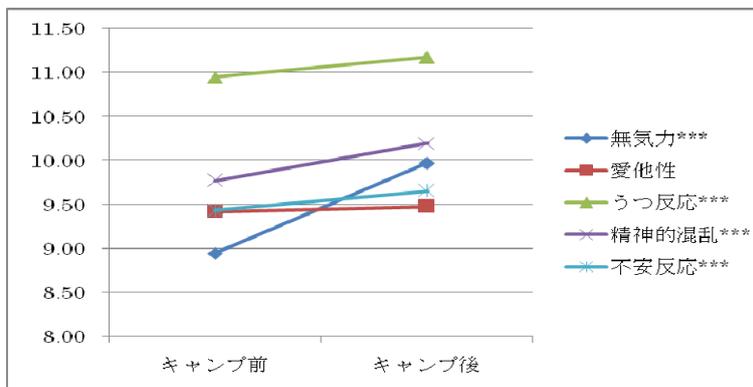


図2. カテゴリごとの変容

3. 満足度

- (1) リフレッシュ・キャンプは楽しかったですか 満足度 95.8%
- (2) 班の友だちとは仲良くできましたか 満足度 94.7%
- (3) 新しい友だちはできましたか 満足度 93.8%
- (4) 班のリーダーは親切でしたか 満足度 95.2%
- (5) リフレッシュ・キャンプで楽しかったことを3つ以内であげてください。

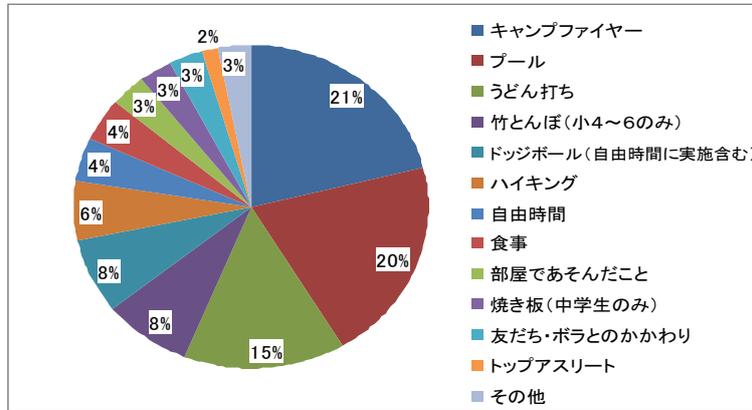
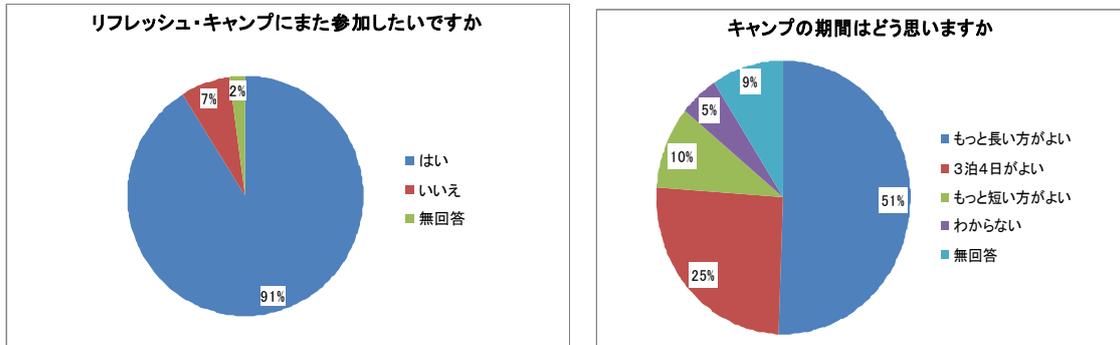


図3. 2706票中の各活動得票数の割合

4. 今後のニーズ



<参加者の感想等> (国立那須甲子青少年自然の家において実施した「親子キャンプ」より)

(キャンプ全体について)

- プログラムは子どものペースで作っていただいていたので、焦ることなく、みなが安全に楽しくできたのがよかったです。いつも家でテレビばかり見ている子どもたちが全くテレビの話などせず4日間過ごせたのは親として、驚きの発見でした。
- 日常の生活が今までどおりにできない状況で言いたくないけどダメと制限してしまい、子どもも親もストレスがあると思います。でもこの3泊4日間、制限なく過ごし、とても充実しました。
- 最初はちょっと恥ずかしがって私の後ろに隠れるようにしていた息子も、たくさんのお友達やボランティアのお兄さん、お姉さん、スタッフの方々と関わり合い、活動していくうちにどんどん笑顔になり、自分から挨拶をしたり、話しかけたりするようになりました。
- 他のご家族の子育てや様子を見ることができ、我が家の在り方について夫婦・家族で話し合うきっかけにもなりました。
- テレビなどのない生活が初めての子ども達は、とても生き生きといて、新しい友達とのびのび遊んでいました。
- 県内で参加できなかった方々がたくさんいます。同じように大変な思いをされていると思います。今回参加できなかった方々のために、違った日程でも開催していただきたいと思います。

(スタッフ・ボランティアについて)

- 積極的に子どもと接していただき、とてもありがたかったです。日常では触れ合えない年齢のお兄さん、お姉さんたちと関わりあえて、子供はとても良い刺激になったし、親の私のリフレッシュになりました。
- やさしくて、子どもとよく遊んでくれました。私から離れて遊ぶことが少ないのに今回のキャンプでは私がいなくても遊べていたのでびっくりです。

リフレッシュ・キャンプについて

1. 事業の概要

(1) 趣 旨

外遊びやスポーツは子どもの心身の健全育成のために極めて重要であるが、福島県の子どもたちは、東京電力福島第一原子力発電所の事故の影響により、外遊びやプールの利用を控えるなど、日常生活の中で多くのストレスを抱えている実態があることから、福島県の児童・生徒の心身の健康やリフレッシュを図るために、一定期間、外遊び、スポーツ及び自然体験活動等ができる機会を提供する。

(2) 実施主体

- ・主 催 : 文部科学省、独立行政法人国立青少年教育振興機構
- ・共 催 : コカ・コーラ
※コカ・コーラより、参加者全員に飲料、帽子、スタッフにTシャツを提供いただいた。

(3) 実施場所・期日

- ・国立磐梯青少年交流の家（福島県耶麻郡猪苗代町字五輪原 7136-1）
期日：平成23年7月23日（土）～8月31日（水）まで、計7回実施
- ・国立那須甲子青少年自然の家（福島県西白河郡西郷村大字真船字村火 6-1）
期日：平成23年7月21日（木）～8月30日（日）まで、計11回実施
※各回とも3泊4日

<各キャンプの期日>

国立磐梯青少年交流の家

B-1	第1回	平成23年7月23日（土）	～	7月26日（火）
B-2	第2回	平成23年7月26日（火）	～	7月29日（金）
B-3	第3回	平成23年8月1日（月）	～	8月4日（木）
B-4	第4回	平成23年8月14日（日）	～	8月17日（水）
B-5	第5回	平成23年8月17日（水）	～	8月20日（土）
B-6	第6回	平成23年8月23日（火）	～	8月26日（金）
B-7	第7回	平成23年8月28日（日）	～	8月31日（水）

国立那須甲子青少年自然の家

N-1	第1回	平成23年7月21日（木）	～	7月24日（日）
N-2	第2回	平成23年7月24日（日）	～	7月27日（水）
N-3	第3回	平成23年7月27日（水）	～	7月30日（土）
N-4	第4回	平成23年7月30日（土）	～	8月2日（火）
N-5	第5回	平成23年8月2日（火）	～	8月5日（金）
N-6	第6回	平成23年8月6日（土）	～	8月9日（火）
N-7	第7回	平成23年8月11日（木）	～	8月14日（日）
N-8	第8回	平成23年8月16日（火）	～	8月19日（金）
N-9	第9回	平成23年8月21日（日）	～	8月24日（水）
N-10	第10回	平成23年8月24日（水）	～	8月27日（土）
N-11	第11回	平成23年8月27日（土）	～	8月30日（火）

(4) 対 象

福島県内の小学1年生～中学3年生

(国立那須甲子青少年自然の家で実施する第7回目は、就学前の子ども及び小学2年生までの児童とその保護者を対象)

(5) 参加費 無料

(食事代1日目昼から4日目昼までの10食分、シーツ洗濯代、保険料、送迎バス代、プログラム活動費は無料)

2. 実施状況等

- 7月10日の募集開始以来、受付センターには約2万件を超える問い合わせ及び6,249件の申し込みがあった。
- 18コース中16コースの定員は初日の申込みで満員(募集定員約5千人)に達し、予定より早い7月14日に募集を締め切り(当初は7月20日までを募集期間と設定)。期間中3,823人が参加。※直前のキャンセルが多数発生
- 子ども達が安全かつ安心して活動できるよう、(独)日本原子力研究開発機構により、施設敷地内やハイキングコース等、キャンプ中に使用する施設・場所について、週に1回放射線量を計測。
- 18コース全てでトップアスリートを招き、子どもたちと交流する場を設けており、バレーボールの柳本晶一氏、バドミントンの小椋久美子氏、400mハードルの為末大氏、女子サッカーの川上直子氏、女子マラソンの千葉真子氏、陸上短距離の朝原宣治氏、プロ野球の金村義明氏等に参加していただいた。
- 8月4日には高木文部科学大臣(当時)が、また8月8日には笠文部科学大臣政務官(当時)が国立那須甲子青少年自然の家のキャンプの様子を視察し、子ども達とともにうどん打ちなどを行った。